

	大項目	具体的内容	今後の取り組み
I	子どもの発達援助	<ul style="list-style-type: none"> ・健康管理 ・食事 ・保育環境 ・保育内容 ・入所児童の人権尊重 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育理念と保育課程の共通理解を図るよう、折あるごと確認をしていく。 ・子どもの様子は、毎月のたよりや連絡ノート等でお知らせしたり送迎の際に伝える。 ・職員間の話し合う場を設け、子どもの姿や保育内容等の報告・連絡・相談の徹底を図る。 ・子ども達が、安心安全の中で過ごせるよう衛生面に心掛ける。（そうじの徹底、おもちゃの消毒、ゴミの処理、手洗い・うがいの励行等） ・保護者や子どもに対しての言葉づかいに気を付け、穏やかな接し方を心がける。 ・言葉で伝えられない子の気持ちを受け止めてあげられるよう、職員間の連絡を密にする。（子どもの発達的な理解、家庭状況、健康面、生育歴等把握）
II	子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・入所児童の保護者の育児支援 ・地域の子育て支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・園の特色等わかりやすく提示しているので、子育て支援活動の内容を理解しておくこと。 ・育児相談窓口は、親子教室、親子リトミック教室、各クラスの担任、園長等、多方面より利用できるようになっている。
III	地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の役割を果たすために必要な地域との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門機関への相談や連携に努める。 ・各地域の行事に積極的に参加し、周りとの交流を図る。
IV	運営管理	<ul style="list-style-type: none"> ・基本方針 ・組織運営 ・人材育成 ・保育体験・実習・ボランティア ・安全・衛生・危機管理 ・守秘義務の遵守 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事を終えた後は反省をし、翌年へつなげていく。また、行事後にアンケートを実施し、保護者の声をさらに大切に「みんなで楽しむ園行事」の取り組みに心掛ける。 ・事故防止のためのチェックリストの確認をしたり、マニュアルを把握し、災害訓練、不審者の対応、防止などの実践に努める。 ・医療機関の連絡先を把握し、とっさに備える。

<全体の結果から>

園の理念や方針に基づいて職員の共通理解のもと指導計画等を作成していき、自己課題の手立てとなるよう話し合いの場を設け、一人ひとりの気づきを大切に保育を進めていく。

<今後の役割として>

幼保一体化の中で、個の育ちを理解しながら家庭との信頼関係を築き、楽しく子ども達と関わられるよう努める。